

宗像市議会
議長 花田 鷹人 様

予算第1特別委員会
委員長 伊達 正信

委員会審査報告書

本委員会に付託された事件の審査結果を報告します。

記

第82号議案 令和元年度宗像市一般会計補正予算（第2号）について

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2億9,302万6千円を増額し、366億1,895万6千円とする。また、繰越明許費、債務負担行為、地方債の補正を行う。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

1 歳入の主なもの

(1) 市税の増額（8,800万円）

市民税法人は課税状況に伸びが見られることから増額する。固定資産税は民間企業の設備投資が好調であり、償却資産の増加が想定を上回ったため増額する。

(2) 国、県支出金の増額（2億162万5千円）

主な要因は、民生費の増額補正に伴う、国、県の負担金、補助金の増額である。

2 歳出の主なもの

(1) 人件費等の増額（2,021万7千円）

人事院の職員給与の改定に関する勧告を受け、職員人件費等を増額する。

(2) 財政調整基金積立金の減額（7,374万6千円）

増額補正による財源不足を補うため、基金積立金を減額する。

(3) 障害者福祉費の増額（1億6,805万8千円）

主な要因は、放課後等デイサービスの利用増に伴う障害児通所支援費1億631万7千円の増など障害者介護給付費の増額である。放課後等デイサービスは利用者が年々増加しており、10月末時点の利用者数は282人。市内に事業所が16カ所あり、支援内容の充実や、保護者の早期療育に関するニーズの高まりなどにより、当初の見込みを超える利用となった。

(4) 生活保護扶助費の増額（8,055万8千円）

医療扶助費を増額する。生活保護における高齢者世帯の増加が主な要因である。

(5) 松林再生保存事業費の増額（405万1千円）

鐘崎周辺の松くい虫防除事業において、県の補助事業が追加採択されたことから委託料を増額する。

(6) 小学校教育振興費の増額（2,568万9千円）

小学校の教科書が来年度改訂されるため、教員用の教科書及び指導書を年度内に購入する。
また、同様の理由により学校情報化事業費を1,397万3千円増額し、デジタル教科書を購入する。

3 繰越明許費

漁港整備事業費1件を計上する。鐘崎漁港整備事業において上下水道工事の協議に時間を要し、工事が年度末までに完成しないことから繰り越しを行う。

4 債務負担行為

来年度当初から業務依頼が必要なもので、今年度中に入札等が必要な43件を計上する。

5 地方債

借入限度額を300万円増額し、26億7,800万円に変更する。

【審査結果】

委員会は全員賛成で原案のとおり可決した。